



株式会社 ウイルコホールディングス

私たちはお客様に、
安心品質をお届けします。

第43期 事業報告書

(2020年11月1日～2021年10月31日)

目次

第 43 回定時株主総会決議ご通知 ……	1
株主の皆様へ ……	2
事業内容の紹介 ……	3-4
トピックス ……	5
主要な連結指標等の推移 ……	6
連結財務諸表 ……	7-8
個別財務諸表 ……	9
会社概要／株式情報 ……	10

株 主 各 位

2022 年1月 27 日

石 川 県 白 山 市 福 留 町 370 番 地
株式会社ウイルコホールディングス
代表取締役社長 若 林 圭 太 郎

第 43 回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第 43 回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第 43 期（自 2020 年 11 月 1 日 至 2021 年 10 月 31 日）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第 43 期（自 2020 年 11 月 1 日 至 2021 年 10 月 31 日）
計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第 1 号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金については 1 株あたり 2 円とすることに決定いたしました。

第 2 号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）に若林裕紀子、若林圭太郎、大槻健、西村保彦、若林和芳、金井行雄、野間自子の 7 名が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第43期（2020年11月1日～2021年10月31日）が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

1. 当期の業績の概況

当連結会計年度(2020年11月1日～2021年10月31日)における我が国経済は、2021年7-9月期のGDP成長率が、前期比で実質△0.9%(年率換算△3.6%)と2四半期ぶりのマイナス成長となりました。国内においてはワクチン接種が進み、新規感染者数が減少し、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が解除され、経済活動は常態をとり戻しつつありますが、エネルギー価格の上昇が続いており、第6波の可能性も依然残っていることから、景気回復が順調には進まないという懸念もあります。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、9月末の緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の解除により、飲食店に対する時短営業や酒類提供の制限は無くなったものの、各種イベントの縮小や観客数制限の継続により、広告出稿量減少によるフリーペーパーの受注及び集客用印刷物の受注は減少しました。一方で、ECサイトからの受注や顧客先からのインターネットを利用した印刷受注(デジタル印刷)は増加しましたが、印刷需要全体の落ち込みをカバーするまでには至らず、セグメント売上高は9,315百万円(前年同期比5.5%減)となりました。コスト面においては、人件費の削減を進めるとともに、製品内製化率の向上を図った結果、セグメント利益は668百万円(前年同期比122.4%増)となりました。今後引き続き堅調に推移しているデジタル印刷及びECサイトからの受注体制を強化するとともに、顧客の販促活動を紙媒体も含め総合的にサポートする営業体制を整備し、DXを活用して新たな顧客サービスを提供してまいります。また、製造効率の更なる改善を図り、利益の拡大を目指します。

メディア事業につきましては、当社が保有していた株式会社関西ほどの残り39%の全株式を5月31日に譲渡したことにより、当該会社が持分法適用会社からも外れました。更に、当社が保有する株式会社アクティの全株式を7月30日に譲渡したことにより、同社も連結の範囲から外れたため、セグメント売上高は334百万円(前年同期比74.6%減)、セグメント利益は10百万円の損失(前年同期は43百万円の損失)となりました。

知育事業につきましては、前半は新型コロナウイルス感染防止関連商品を、従来の販売ルート他、ダイレクト・メール、ECサイトなどを通して、幼稚園・保育園へ販売したこともあり、業績は堅調に推移しました。しかしながら後半は、それらの商品への需要も一巡し、売上も平常時に戻りつつあります。コスト面では、在庫の積極的圧縮と前期に実施した経費削減策の効果もあり、損益面では改善しました。その結果、セグメント売上高は1,281百万円(前年同期比2.7%減)、セグメント利益は29百万円の損失(前年同期は30百万円の損失)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は10,676百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益は312百万円(前年同期は営業損失116百万円)、経常利益は313百万円(前年同期は経常損失110百万円)となりました。しかしながら、株式会社関西ほど株式売却に伴う最終的な関係会社株式売却益63百万円を計上したものの、投資有価証券評価損84百万円や電力料金急騰に係る料金交渉の決着に伴う特別損失(臨時損失)13百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は266百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失28百万円)となりました。

2. 当期・次期の配当について

当社は、事業拡大や経営体質の強化を図るために必要な資金を内部留保しつつ、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株あたり2円としております。

なお、次期の配当につきましては、経営環境、業績見通し等を勘案し、引き続き、1株あたり2円を予定しております。

当社では収益の改善に努め、継続的に利益を確保できる企業体質を目指してまいりますので、株主の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3. 今後の見通しについて

主力の情報・印刷事業におきましては、コロナ禍においても堅調に推移しているECサイトからの受注及びデジタル印刷の受注を引き続き強化してまいります。また、顧客の販促活動を紙媒体も含め総合的にサポートする営業活動を通して新規顧客の開拓と既存顧客の深耕を進めるとともに、DXを活用した新たなサービスの創出並びに生産効率の向上を図り、売上高及び収益拡大を目指します。知育事業におきましては、引き続き新規先へのアプローチとしてダイレクトメール(DM)の活用とECサイトの充実により売上・利益の拡大を図るとともに、新商品の開発及び新たな販路開拓に注力してまいります。また、利益確保のため、原価低減を軸としたコスト削減も更に徹底して進めます。

更に下期以降につきましては、通信販売事業を開始し、紙媒体による告知効果、形態別ダイレクトメール(DM)のレスポンス、DMとコールセンター併用の費用対効果等を自ら検証し、それらの情報をお取引先様に還元することにより、従来のクリエイティブ制作から印刷物の提供に加え、販売促進からアフターフォローまでをカバーできるオールインワンマーケティングカンパニーを目指してまいります。また、知育事業におきましても、未取引の幼稚園・保育園を含め、DMを利用した商品販売をより一層進めてまいります。

以上により、次期(2022年10月期)の連結業績は、売上高11,300百万円、営業利益300百万円、経常利益300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益250百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年1月

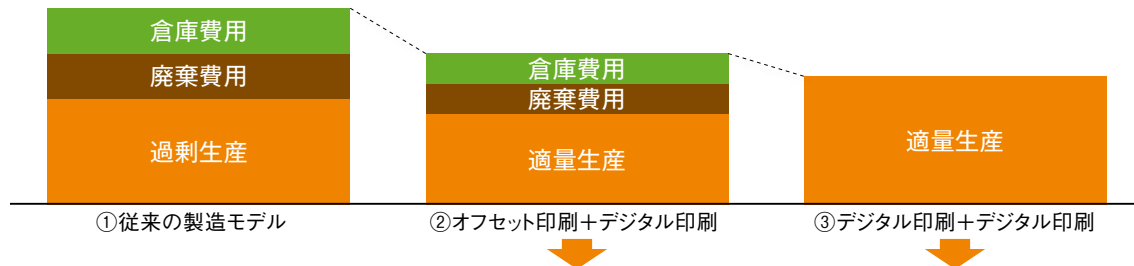
株式会社 ウイルコホールディングス
代表取締役社長 若林 圭太郎

情報・印刷事業

- 販売促進企画
- 商業印刷
- 出版印刷



デジタル印刷機による環境への配慮



- **コスト削減**
パンフレットの過剰在庫・廃棄費用・倉庫費用・倉庫管理費用の削減
- **機会損失の削減**
必要とときに必要な数量を提供
- **環境に配慮**
SDGs



つくる責任
つかう責任



陸の
豊かさも
守ろう

知育事業

- 企画・出版
- 教材開発

成長につながる絵本・児童書

怒りの感情をコントロールするアンガーマネジメントを実践できる絵本や、SDGs、コロナ関連など社会の問題を考える小学生から中学生向けの児童書など、子どもたちの心の成長の糧となる良書の出版と普及を志しております。



創造力を引き出す商品

安全面に配慮し作られた積木や自由自在に組み合わせることのできるブロック、日本語学習習得の基礎になる絵カードなど、様々な知育玩具を開発しています。



園向け商品の物販・通信販売

幼稚園・保育園・こども園向け商品を企画・開発し、販売しております。コロナ対策関連商品として、キューブミスター(除菌液噴霧器)やオゾン除菌消臭器なども取り扱っております。



おすすめ図書 【地球のことをおしえてあげる】



米タイム誌2020年YA/絵本ベスト10選出
ニューヨークタイムズ紙2020年子どもの本ベスト25選出
全国学校図書館協議会選定図書

トピックス

SDGsの達成に向けた当社の取り組み

無駄をなくす「サステナブル」な製造体制

企業・店舗の広告・販促施策は、同一品を大量生産する時代から、「必要なものを必要なだけ生産する」時代に移り変わっています。当社は、印刷物の小ロット製造に対応できるデジタル印刷機を導入。無駄な製造を減らし、必要なだけオンデマンドに提供していきます。

「環境に配慮した用紙」の使用

無線綴じ冊子の印刷において環境に配慮した「FSC® 認証用紙」を取り扱っています。また、当社製造工場においても加工・流通の工程にてFSC® 認証（CoC 認証）を取得しており、条件を満たす印刷物にはFSC ロゴマークを付けることが可能です。



新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組み

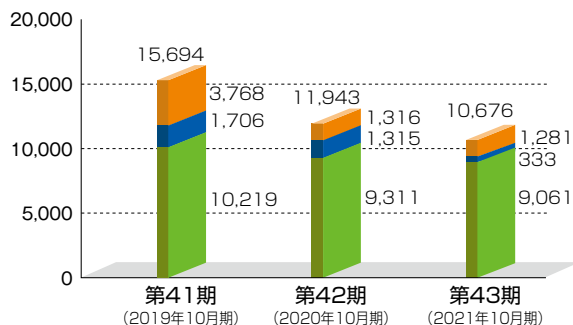


当社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止及び事業継続対策に関し、当社における「新型コロナウイルス対策に関する基本方針」を策定しております。当社グループ従業員は、自分自身が感染しないよう、マスクの着用、咳エチケット、手洗い・うがいの徹底等、各自予防の徹底に努めております。万一、感染の疑いがあった場合においては、出社を控え自宅待機とし、従業員（同居家族を含む）、お客様等の生命・安全を優先します。社内に感染者が発生した場合においては、管轄行政機関と連携し、管轄行政機関の指示に基づき、該当者勤務エリアの消毒対応、濃厚接触者の特定及び一定期間の自宅待機等、感染拡大を防止する措置を速やかに実施します。

// 主要な連結指標等の推移

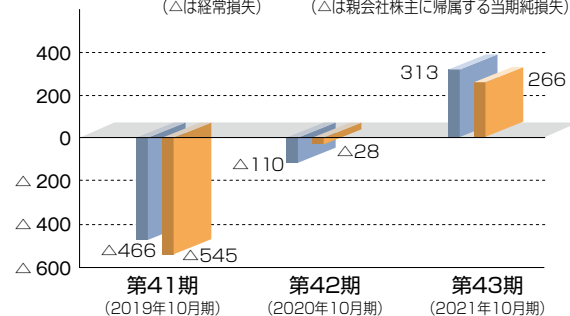
売上高

(単位: 百万円) ■ 情報・印刷事業 ■ メディア事業 ■ 知育事業



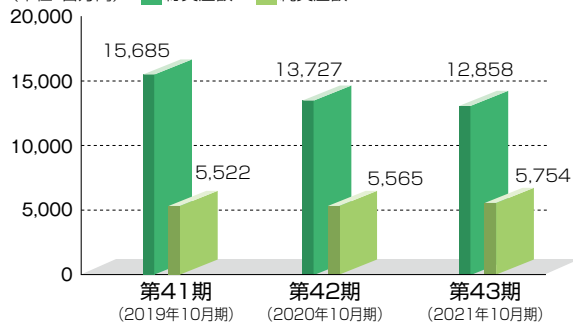
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(単位: 百万円) ■ 経常利益 (△は経常損失) ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (△は親会社株主に帰属する当期純損失)



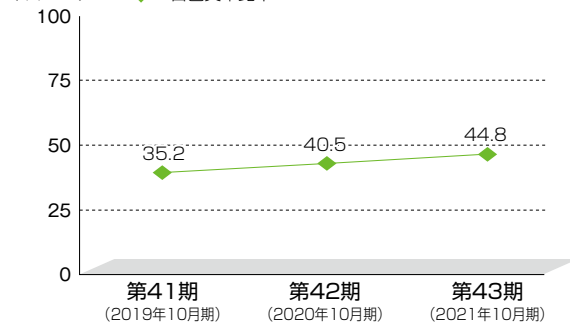
総資産額／純資産額

(単位: 百万円) ■ 総資産額 ■ 純資産額



自己資本比率

(単位: %) ◆ 自己資本比率



(ご参考)

(単位: 百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度	前年同期比	増減率
情報・印刷事業	9,061	9,311	△ 249	△ 2.7%
メディア事業	333	1,315	△ 981	△ 74.6%
知育事業	1,281	1,316	△ 35	△ 2.7%
売上高	10,676	11,943	△ 1,266	△ 10.6%
情報・印刷事業	668	300	368	122.4%
メディア事業	△ 10	△ 43	33	-
知育事業	△ 29	△ 30	1	-
セグメント利益	629	226	403	178.3%
全社費用	△ 317	△ 342	25	-
営業利益	312	△ 116	428	-

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	2021年10月31日現在	2020年10月31日現在
資産の部		
流動資産	7,044	7,579
現金及び預金	4,165	4,075
受取手形及び売掛金	2,005	2,542
商品及び製品	440	449
仕掛品	96	110
原材料及び貯蔵品	189	195
その他	148	211
貸倒引当金	△ 1	△ 5
固定資産	5,813	6,147
有形固定資産	4,515	4,762
建物及び構築物	983	1,047
機械装置及び運搬具	384	478
土地	2,118	2,118
リース資産	1,009	1,084
建設仮勘定	-	4
その他	19	29
無形固定資産	86	55
ソフトウェア	23	43
その他	63	11
投資その他の資産	1,211	1,329
投資有価証券	897	978
長期貸付金	-	23
その他	326	343
貸倒引当金	△ 12	△ 17
資産合計	12,858	13,727

科 目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	2021年10月31日現在	2020年10月31日現在
負債の部		
流動負債	4,056	4,391
支払手形及び買掛金	941	1,372
電子記録債務	1,466	1,302
1年内返済予定の長期借入金	718	708
リース債務	251	235
未払金	458	501
未払法人税等	16	21
賞与引当金	27	39
その他	176	208
固定負債	3,047	3,771
長期借入金	1,350	1,859
リース債務	852	956
退職給付に係る負債	425	512
繰延税金負債	351	339
資産除去債務	12	15
その他	54	88
負債合計	7,104	8,162
純資産の部		
株主資本	5,557	5,391
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	2,138	1,969
自己株式	△ 7	△ 4
その他の包括利益累計額	196	173
その他有価証券評価差額金	185	168
退職給付に係る調整累計額	10	5
純資産合計	5,754	5,565
負債及び純資産合計	12,858	13,727

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2020年11月1日から 2021年10月31日まで	2019年11月1日から 2020年10月31日まで
売上高	10,676	11,943
売上原価	8,530	9,462
売上総利益	2,146	2,481
販売費及び一般管理費	1,834	2,597
営業利益又は営業損失 (△)	312	△ 116
営業外収益	79	80
営業外費用	78	74
経常利益又は経常損失 (△)	313	△ 110
特別利益	76	195
特別損失	108	120
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	281	△ 35
法人税等	14	△ 6
当期純利益又は当期純損失 (△)	266	△ 28
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	266	△ 28

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2020年11月1日から 2021年10月31日まで	2019年11月1日から 2020年10月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	814	527
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 98	360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 626	△ 732
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89	155
現金及び現金同等物の期首残高	3,557	3,402
現金及び現金同等物の期末残高	3,647	3,557

連結株主資本等変動計算書 (2020 年 11 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
2020年11月1日残高	1,667	1,758	1,969	△ 4	5,391	168	5	173	5,565
連結会計年度中の変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	266	-	266	-	-	-	266
自己株式の取得	-	-	-	△ 3	△ 3	-	-	-	△ 3
連結子会社の減少に伴う減少高	-	-	△ 97	-	△ 97	-	-	-	△ 97
株主資本以外の項目の連結会 計年度中の変動額 (純額)	-	-	-	-	-	17	5	22	22
連結会計年度中の変動額合計	-	-	169	△ 3	165	17	5	22	188
2021年10月31日残高	1,667	1,758	2,138	△ 7	5,557	185	10	196	5,754

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末 2021年10月31日現在	前事業年度末 2020年10月31日現在
資産の部		
流動資産	1,093	1,056
固定資産	7,834	8,276
有形固定資産	3,015	3,086
無形固定資産	0	1
投資その他の資産	4,818	5,189
資産合計	8,928	9,333
負債の部		
流動負債	1,013	1,113
固定負債	2,266	2,814
負債合計	3,279	3,928
純資産の部		
株主資本	5,462	5,236
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,765	1,765
利益剰余金	2,036	1,810
自己株式	△ 7	△ 7
評価・換算差額等	185	168
その他有価証券 評価差額金	185	168
純資産合計	5,648	5,405
負債及び純資産合計	8,928	9,333

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 2020年11月1日から 2021年10月31日まで	前事業年度 2019年11月1日から 2020年10月31日まで
売上高	582	603
売上原価	91	90
売上総利益	490	512
販売費及び一般管理費	320	346
営業利益	169	166
営業外収益	175	38
営業外費用	29	221
経常利益又は経常損失(△)	315	△ 16
特別利益	3	60
特別損失	115	69
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	203	△ 25
法人税等	△ 23	101
当期純利益及び当期純損失(△)	226	△ 126

株主資本等変動計算書 (2020年11月1日から2021年10月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金								利益剰余金 合計
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						
2020 年 11 月 1 日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	134	1,810	△ 7	5,236	168	168	5,405
事業年度中の変動額													
当期純利益	-	-	-	-	-	-	226	226	-	226	-	-	226
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	17	17
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	-	226	226	-	226	17	17	243
2021 年 10 月 31 日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	360	2,036	△ 7	5,462	185	185	5,648

会社概要／株式情報

■会社概要（2022年1月27日現在）

■会社の概況

商号	株式会社ウイルコホールディングス Wellco Holdings Corporation
設立	1979年5月
代表者	代表取締役社長 若林 圭太郎
資本金	16億6,762万円
本社所在地	石川県白山市福留町370番地
事業所	本社 東京事務所
重要な子会社	株式会社ウイル・コーポレーション 鈴木出版株式会社

■株式情報（2021年10月31日現在）

■株式の状況

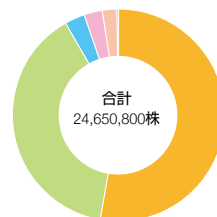
発行可能株式総数	76,600,000株
発行済株式総数	24,650,800株
株主総数	3,532名

■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社わかさ屋	4,800,000	19.51%
若林 和芳	4,636,160	18.84%
若林 裕紀子	1,920,000	7.80%
株式会社日本創発グループ	1,200,000	4.87%
ウイルコ役員持株会	1,072,200	4.35%
株式会社桂紙業	1,000,000	4.06%
大日精化工業株式会社	960,000	3.90%
株式会社北國銀行	720,000	2.92%
大和輸送株式会社	504,000	2.04%
株式会社タナックス	388,000	1.57%

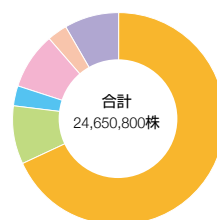
(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■株式分布状況（所有者別）



個人・その他 (52.85%)	13,026,857株
その他国内法人 (39.01%)	9,616,361株
金融機関 (3.02%)	745,200株
証券会社 (2.83%)	697,192株
外国個人・外国法人 (2.08%)	512,500株
自己株式 (0.21%)	52,690株

■株式分布状況（所有数別）



500,000株以上 (68.20%)	16,812,360株
100,000株以上 500,000株未満 (8.92%)	2,198,216株
50,000株以上 100,000株未満 (3.15%)	777,378株
10,000株以上 50,000株未満 (8.36%)	2,060,546株
5,000株以上 10,000株未満 (3.19%)	785,700株
5,000株未満 (8.18%)	2,016,600株

■ 事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
■ 定時株主総会	1 月中
■ 基準日	10 月 31 日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
■ 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
■ 公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.wellco-corp.com/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。